

箱根矢竹トハ果シテ何者ゾヤ

テ普通ナ種類デハナイ、内地デ此羊齒ヲ植栽シテ居ル人ハ他ニマダナイ様ニ思ハレルガ温室デナクトモ「フレーム」ナラ差支ナク栽培スルコトガ出來ル

○箱根矢竹トハ果シテ何者ゾヤ

澤田 武 太郎

故、坪井伊助翁著『竹類圖譜解説』四十九頁やだけノ條ニ「本竹ノ一變種にして、箱根矢竹と稱するものあり、凡の形狀前者に等しと雖も、全形稍小にして竿高七八尺周六七分に達するもの尠く、葉長三四寸乃至六寸幅三四分乃至五六分なると、籜色淡紫を帶ぶるを異とす。」ナル句アリ是レ箱根ニ住スル余ニハ實ニ妙味アル語ナリ何ントナレバ牧野先生ガ本誌第三卷六號ニ發表サレタル *Sasa Hisauchi Makino*. ハ箱根ニ於テハ一般ニやだけトシテ呼バル、モノニシテ其形狀やだけニ似タル所アリ且ツ坪井氏記載ト合致スル所少ナカラズ余ハ本年其籜ヲ檢シテ綠色ニ淡紫ヲ帶ブルヲ知り益々坪井氏ノ語句ニ興味ヲ感ゼシヲ以テ茲ニ一言ヲ費シ以テ同好ノ參考ニ供セントス、タゞ坪井氏ハ籜面毛ノ有無ニ論及セザレドモ矢竹ニハ毛アリ此竹ニハ毛ナシ是レ最モ大ナル兩者區別ノ點ナリトス

此ノ *Sasa Hisauchi Makino*. ハ始メ強羅ノ松永安左衛門氏構内ノ山地ニ發見サレ後宮ノ下附近ニ其存在ヲ認メラレ昨夏牧野先生ハ宮城野附近ヨリ小塚山ニ達スル一帯ノ地ニ産スルヲ確カメラレタルニヨリ本竹ノ箱根ニ於ケル分布ハ甚ダシク擴張セラレシ結果之ヲ山人ニ質シタルニやだけノ方言ヲ得タリ然レドモ本來ノやだけトハ種ヲ異ニスルハ頗ル明白ナル事實ナリトス

Sasa Hisauchi Makino. 〳 *Pseudosasa Hisauchi Makino*. ノ異名ヲ有シ又 *Sasa japonica Makino forma hahonensis Makino* (坪井伊助著竹類圖譜第八十葉 nom. nudum) ノ名アリ又同圖譜第六十五葉ニ其種ヲ

Arundinaria Chino Makino. トナシアルハ宜シク之ヲ Sasa Hisanuchii Makino. ト訂正スベキモノデアル
即チ Arundinaria Chino Makino in 坪井伊助竹類圖譜第六十五葉 (2) 並ニ同解説二八頁、non 植物學雜誌第
二十六卷十四頁 (1912) デアル

○うせんちくトよこはまちく

久 内 清 孝

うせんちく 大正九年ノ冬ノ事デアル余ハ横濱市ノ鷺山デめだけ屬ノ一種ヲ得之ヲ牧野先生ニ示シタ先生ハ當
時之ヲ栽培セルおろしまちくノ野生品ト考ヘ其事ヲ植物學雜誌第二十六卷歐文第十六頁ニ圖ヲ入レテ報ゼラレ
タ後坪井伊助氏ガ日本竹類圖譜ヲ發行スルニ當リ先生ハ之ニ Arundinaria Hisanuchii Makino ノ名ヲ與ヘ且ツ
和名ヲうせんちくと命ゼラレタガ坪井氏ノとよばちく、ほそかはたけ等ノ名ハ此ノ竹ノコトデアル本多林學博
士ノ造林學各論第五竹類編ニハうせんちく羽扇竹おほおろしまちくノ名ガ舉ゲラレテ居ル是レハ何レモ牧野先
生ノ和名デアル其後此ノ竹ノ性質ガ段々判明シタノデ近頃デハ牧野先生ハあづまね、ノ一品ト考ヘラレルニ
至リ遂ニ Pleioblastus Chino Makino var. Hisanuchii Makino. ノ學名ヲ發表セラレタ

右ノ様ナ經過ヲ取ッテ來タ此ノ竹ハ關東一帯ニ於テ獨特ナ相貌ヲ表ハスあづまね、ノ即チ P. Chino (FRANCH.
et SAV.) MAKINO. ノ中デ横濱鷺山産ノ如キ特有ノ形態ヲ呈スル品ヲ指シタモノデアル此點ニ於テ鷺山ノ產地
ハ記念スベキ地點ナルモ現時都市計劃ノ進行スルニ伴ヒ其產地ガ住宅地ト化シ此處ノうせんちく本來ノ姿ハ只
僅ニ前掲植物學雜誌ノ挿圖ヲ殘シテ永久ニ吾人ノ視界カラ沒シ去ラントシツハアル

此うせんちくノ代表的形態ハ枝端ノ葉ガ掌狀ニ散開シテ羽扇狀ヲ呈スルコトデ此特性ハ秋ニナルト最モ顯著ト
ナル葉ハ強直ダカラ垂下セズ表裏共ニ無毛デ其先端ハ急ニ尖頭ニナリ幹デバ灰色トナリ數條ノ縱溝ヲ現出スル
性質ガアル其典型的ノモノハ葉長一寸乃至三寸デ葉柄ハ殆ンドナク葉鞘ハ秋末ニ至リ往々枝ヨリ遊離シテ莖ニ